

科目名	経済学Ⅱ	担当者	楠谷 清	部別	第一部	期間	後期	単位数	2
-----	------	-----	------	----	-----	----	----	-----	---

授業概要	この講座では、経済社会の仕組みを理解し、さらに、社会で生起する様々な社会現象とくに経済現象にアプローチするための経済学の基礎理論を学習する。経済学理論は大きくミクロ理論とマクロ理論に分類することが出来るが、この講座では、主にマクロ経済に分類される国民所得決定に関する基礎理論を学習し、さらに、経済学の応用科目である財政学、公共経済学、国際経済学といった科の基礎理論を学習する。			
授業目的・到達目標	中級・上級科目および発展科目の履修のために必要となる経済学の基礎理論の修得を目的とする。現代社会で生じる様々な経済現象にアプローチするための主に基礎的なマクロ経済理論（国民所得決定の理論）を修得するとともに、経済学の応用科目である財政学、公共経済学、国際経済学といった科目の理解を深める初級の経済理論の修得し説明できるようになることを目標とする。			
履修条件	経済学Ⅰを履修していること。			
授業方法	テキストに沿って講義を進める。必要に応じて講義に関連する資料を配付する。スライド（パワー・ポイント）を使用して講義を行う。			
成績評価	種別	割合	評価方法	
	定期試験	80%	筆記試験は経済学の重要概念が習得されているかを判定する。授業中に解説された基本的な項目・事項について理解すること。	
	平常評価	20%	レポート提出、授業への参加度も評価の対象とする。	
教科書	年	出版社	書名	著者名
	2015年	弘文堂	『Next 教科書シリーズ 経済学入門』	山口・楠谷編著
	備考			
参考書	授業中に適宜、紹介する。			
オフィスアワー	水曜日 15:00～16:00（休暇中を除く、事前にメールでアポイントメントを取ること） 研究室（4号館3階432） kusuya.kiyoshi@nihon-u.ac.jp			

【授業計画】

回数	授業内容	
1	事前学習	シラバスをよく読む。 教科書を入手して、各章の冒頭にある導入説明を読む。
	授業内容	授業のテーマや内容、授業スケジュール、成績評価の方法、参考文献の紹介を含めて経済学の学習方法や研究方法について説明し、受講生が授業の準備を具体的にできるようにする。
	事後学習	講義ノートを確認して、自分の学習計画と他の履修科目との関係について検討する。
2	事前学習	教科書 「第6章 国民所得のさまざまな概念」を読み、内容について考察する。
	授業内容	【国民所得のさまざまな概念1】 マクロ経済学の分析手法の特徴点と意義を学習し、また、国民所得決定の理論とも呼ばれるマクロ経済学の基礎概念である、国民所得、国内総生産、名目GDPと実質GDP、三面等価の原則について学習し、受講生が説明できるようにする。
	事後学習	講義ノートと配付資料を確認して、章末の問題について自分なりの説明をまとめる。
3	事前学習	教科書 第7章の「1. 総需要と総供給」、「2. 消費、投資と乗数効果の関係」を読み、内容について考察する。
	授業内容	【均衡国民所得の決定1】 総需要と総供給の概念を学習し、総需要額と総供給額が等しくなるときに国民所得の額が決まることを学習する。所得と消費支出の関係を表す消費関数を学習し、さらに投資が行われると国民所得が増えること、投資が行われると投資額の数倍の国民所得が増えるという乗数効果の理論を学習する。
	事後学習	講義ノートと配付資料を確認して、章末にある問題を解いてみる。

4	事前学習	教科書 第7章の「3. 均衡国民所得の決定」を読み、内容について考察する。
	授業内容	【均衡国民所得の決定2】 国民所得の規模(金額)の決定を重要な恒等式と作図によって学習する。
	事後学習	教科書、講義ノート、配付資料を確認して、以下の問題を解きなさい。 $C=40+0.6Y$ (消費関数)、 $I=100$ (投資額)、 $G=50$ (政府支出額) のとき、 (問) Y ($GDP=$ 国民所得)の金額を求めよ。
5	事前学習	教科書 第8章の「1. 貨幣とは」、「2. 貨幣の供給と需要」を読み、内容について考察する。
	授業内容	【貨幣と金融1】 貨幣とは何か、貨幣のもつ機能と貨幣の範囲から学習する。 貨幣供給(マネーサプライ又はマネーストック)と貨幣需要、信用創造、流動性選好説の各概念について学習する。
	事後学習	教科書、講義ノート、配付資料を確認して、章末の問題(1)と(2)について、自分なりの説明をまとめる。
6	事前学習	教科書 第8章の「3. 金融とは」、「4. 金融機関と金融市場」を読み、内容について考察する。
	授業内容	【貨幣と金融2】 金融とは何を意味するのか学習し、また、金融機関の分類と金融市場の分類について学習する。
	事後学習	教科書、講義ノート、配付資料を確認して、章末の問題(3)と(4)について、自分なりの説明をまとめる。
7	事前学習	教科書 第9章の「1. IS-LM分析の意義」、「2. 財市場の均衡を表すIS曲線」、「3. 貨幣市場の均衡を表すLM曲線」を読み、内容について考察する。
	授業内容	【IS-LM分析と財政・金融政策1】 財市場と金融市場はお互いに影響を及ぼし合っている。財市場と金融市場の相互作用を同時に捉えることによって、国民所得の決定を分析するIS-LM分析について、学習する。
	事後学習	横軸に国民所得(Y)、縦軸に利子率(r)を表したとき、IS曲線が右下がりに表されること。また、LM曲線が右上がりに表されることを、自分なりの説明をまとめる。
8	事前学習	教科書 第9章の「4. 財市場と貨幣市場の同時均衡」、「5. 財政・金融政策」、「6. IS-LM分析による財政・金融政策の効果」を読み、内容について考察する。
	授業内容	【IS-LM分析と財政・金融政策2】 前回の学習を踏まえて、財市場と貨幣市場の同時均衡を作図して学習する。 財政政策の役割と手段、金融政策の目的と手段を学習し、IS-LM分析によって、財政政策と金融政策の効果の違いを学習する。
	事後学習	教科書、講義ノートと配付資料を確認して、章末の問題を解いてみる。
9	事前学習	教科書 「第10章 財政学の基礎」を読み、内容について考察する。
	授業内容	【財政学の基礎】 経済循環の図によって、政府と民間部門(家計、企業)の繋がりを学習する。 財政の役割は何か、財政学の研究対象は何か、日本の財政の問題点は何か等について学習する。
	事後学習	教科書、講義ノートと配付資料を確認して、章末の問題について自分なりの説明をまとめる。
10	事前学習	教科書 第11章の「1. 公共経済学とは何か」、「2. 市場の機能と失敗」を読み、内容について考察する。
	授業内容	【公共経済学の基礎1】 市場の失敗を明らかにし、その失敗を解決するには政府はどのような調整策を採るべきかを提案する学問が公共経済学の特徴点であることを学習する。
	事後学習	市場の機能とメリットは何か、教科書、講義ノートと配付資料を確認して、自分なりの説明をまとめる。
11	事前学習	教科書 第11章の「3. 公共財の供給」、「4. 外部性」、「5. 自然独占」を読み、内容について考察する。
	授業内容	【公共経済学の基礎2】 どのような場合に市場は失敗してしまうのか、つまり、最適(効率的)資源配分を実現することが出来ないのか学習し、どのような調整策があるか考察する。
	事後学習	教科書、講義ノートと配付資料を確認して、章末の問題を解いてみる。
12	事前学習	教科書 「第12章 日本経済論」を読み、内容について考察する。
	授業内容	【日本経済論】 日本経済の歩みを、戦後から高度成長の時代を概観し、行動成長を可能とした要因を学習する。 現代のデフレーションの状態、将来に向けての日本経済の改革の現状を考察する。
	事後学習	教科書、講義ノートと配付資料を確認して、章末の問題について自分なりの説明をまとめる。
13	事前学習	教科書 第13章の「1. 国際貿易の基礎理論」、「2. 外国為替制度と国際収支の構造」を読み、内容について考察する。
	授業内容	【国際経済学入門1】 国際貿易の基礎理論として、比較優位の原理、ヘクシャーオリーン定理を学習し、近代貿易理論の展開を概観する。 また、外国為替制度と国際収支の構造について、外国為替相場と国際通貨制度や国際収支の構造、経常収支の国内マクロ経済との関連、為替相場の変動と経常収支を挙げて学習する。
	事後学習	章末の問題(1)と(2)について、自分なりの説明をまとめる。
14	事前学習	教科書 第13章の「3. オープンマクロと経済政策」を読み、内容について考察する。
	授業内容	【国際経済学入門2】 オープンマクロと経済政策として、マンデル=フレミングモデルを学習し、財政政策の効果と金融政策の効果の違いを学習する。
	事後学習	章末の問題(3)について、自分なりの説明をまとめる。

15	事前学習	初回からの教科書の該当する各章と講義ノートと配付資料を見直し、マクロ経済学のポイント、財政学や公共経済学などの研究テーマを確認する。
	授業内容	講義のまとめとして、マクロ経済学のポイント、財政学、公共経済学、日本経済論、国際経済学といった経済学の応用分野の研究テーマのポイントを整理する。
	事後学習	初回からの教科書の該当する各章と講義ノートと配付資料を見直し、期末テストの準備をする。